

平成 30 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400079	事業の開始年月日	平成18年12月1日
		指定年月日	平成24年12月1日
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷		
所在地	( 〒246-0006 ) 神奈川県横浜市瀬谷区上瀬谷町56-4		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成30年11月20日	評価結果 市町村受理日	平成31年2月5日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ボランティア団体の方々にお越しいただき演奏会等を開催し交流を図っています。リクエスト曲を演奏していただいたり、誕生月のご利用者様に歌を唄っていただいたりとみんなで楽しめるように工夫しています。毎月、季節に沿った行事を行いご利用者様、職員との交流を図っています。又、安心して生活が出来るよう情報の共有を図り事故防止に職員一同ケアに努めています。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成30年11月28日	評価機関 評価決定日	平成31年1月26日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

**【事業所の概要】**  
この事業所は相鉄線瀬谷駅からバスで約10分、バス停から徒歩3分の畑が点在する閑静な住宅地に立地している。建物は木造2階建てのバリアフリー構造でエレベーターが設置され、日当たりが良く清潔感がある。テラスで外気浴を楽しむことができ、事務所の広いガラス窓から居間全体を見渡せる内部設計になっている。

**【利用者本位の支援の実践】**  
「笑顔・気配り・安心」という3つの柱を中心として事業所理念を作成し、利用者が安心して生活ができるケアサービスを心がけている。利用者は身体機能の維持と生きがいのある生活に向けて、毎月の事業所のイベントに計画段階から積極的に参加し、できる事は自分でやるように、食事の盛り付けや後片付けなど実践している。食事会や誕生会にはできる限り利用者の要望を取り入れている。介護経験豊富な職員が多く、介護福祉士などの有資格者がきめ細かな支援をしている。

**【家族との連携強化】**  
毎月個別に「一言通信」を作成して利用者の状況を家族に報告している。運営推進会議と交互に2か月ごとに家族会議を開催して意見交換し、その後食事会で親睦を図り、ブログでもホームの様子を発信して家族との連携強化を図っている。

**【安心・安全な支援体制の構築】**  
24時間オンコール体制で、提携している内科医の往診が月2回あり、看護師が週1回健康管理に訪れ、ターミナルケアについても対応している。親会社「ALSOK」による自動緊急通報システムなど防犯・防災に関する安心・安全な支援体制が構築されている。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷
ユニット名	1ユニット

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/>	4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある
	<input type="radio"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/>	3, たまにある
	<input type="radio"/>	4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/>	2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/>	3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/>	4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/>	2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/>	3, たまに
	<input type="radio"/>	4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている
	<input type="radio"/>	2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/>	3, あまり増えていない
	<input type="radio"/>	4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/>	2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/>	2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4, ほとんどいない

事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
		○	3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1, 毎日ある
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
		○	3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
		○	4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	実践している職員が多数であると思うが、意識が薄く実践されていない職員もいる。	法人理念のもと、事業所理念は開設時に「笑顔・気配り・安心」という3本の柱を中心として作成されたものである。さらに「転倒骨折防止のための具体的行動・対策指針」や「虐待ゼロへの行動指針」、「接遇・行動指針」などの指針があり、毎月事業所全体とユニットごとの目標が設定されている。毎月の全体会議やユニット会議で確認するだけでなく、それぞれ玄関や事務所、リビングなどに掲示し、いつでも確認できるようになっている。行動指針の一部については毎日朝礼で唱和している。職員は常に余裕をもって、「笑顔」で支援ができるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2ヶ月に1度運営推進会議は開催しているが、ご家族、地域住民共に、参加率は低く交流はあまりない。	上瀬谷町内会に加入している。散歩時には近所の方と挨拶を交わし、農作物やブドウなどの果物を頂くこともある。地域の祭りに、子ども神輿が事業所前に来て、交流している。年2回トーンチャイムの演奏ボランティアの来訪があり、利用者は楽しんでいる。地域の情報は回覧板から収集しているが、地域の行事に利用者、職員は参加しておらず、事業所の行事にも地域の方の参加が無い状況になっている。	利用者とともに地域の行事などに参加でき、また事業所の行事に地域の方が参加するような関係づくりを構築し、さらに日常的な交流が活発になるよう事業所からの積極的な情報発信、行政を巻き込んだアプローチを期待します。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域交流がほとんど出来ていない為他へ活かせる場がない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議に出席された方々からの意見・助言等は頂いているため話し合いを行い出来るだけ活かせる様に取り組んでいる。	運営推進会議は2か月ごとに開催している。参加メンバーは家族、地域包括支援センター職員、民生委員、管理者、職員などで、事業所の活動状況や行事報告、意見交換などを行っている。外出や散歩の頻度、日々のケアについての要望が多く、できる限り対応している。	地域の代表としての町内会長の参加を要請し、より地域との連携を図るよう希望します。行政の力を借りるなど対応を望みます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加があまり無い為関係は築けていない。	瀬谷区高齢・障害支援課高齢者支援担当が窓口で、日々の相談や書類の提出などについて電話やファックスなどで対応している。運営推進会議議事録などは郵送している。介護保険認定更新手続きや生活保護関連の担当者とは連携をとっている。近隣の施設との防災協定の覚書の締結に伴う避難訓練には市の介護事業指導課課長などの参加があった。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置してケアに取り組んでいる。しかしながら、玄関・浴室は施錠している。</p>	<p>身体拘束をしない旨、運営規程に明記している。法人の研修が毎月開催され、できる限り参加するよう努めている。「身体拘束等適正化委員会」があり、3ヶ月ごとに法人が職員の研修を実施し、参加した職員が事業所内で報告会を開き情報を職員間で共有している。職員は出勤時に「虐待ゼロへの行動指針」に目を通した後に押印するルールを定めて管理している。ユニット会議では利用者個人ごとに虐待や身体拘束について確認している。玄関などのドアは安全のため鍵をかけているが、利用者が外出したい様子が見えた時には職員が対応している。言葉による拘束については常に「接遇・行動指針」を掲示して職員同士、管理者が確認している。「瀬谷区認知症高齢者はいかいネットワーク」に参加している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止委員会を設置して虐待が無い会議で話し合いケアに努めている。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>学ぶ機会が無い為活用は出来ない。</p>			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約は十分に理解・納得していただいている。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部の方への機会は特別ないが、管理者・職員・ご家族様等の意見は協力機関等へ意見として伝え運営に反映させている。	家族は家族会や運営推進会議などで意見や要望を伝えている。家族会の後に食事会を開き、利用者、家族と交流を深めている。本社に届く苦情用のはがきが受付に用意されている。家族の意見や要望は日常のケアについてのことが多く、できる限り対応している。利用者の声は日々のケアを通して把握するように努めている。利用者の近況を伝える「一言通信」を発行し家族に伝えている。毎月ブログでホームの様子などを情報発信している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月初めのユニット会議・月末の全体会議を開き意見や提案を聞き、反映させている。	毎月のユニット会議や全体会議で職員の意見や要望を聞いている。年2回管理者が職員と面談し、意見や要望を聞く機会がある。座席について利用者同士の相性を考慮して変更した事例がある。意見が言いやすい関係性が築かれており、コミュニケーションが常に取れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見を聞いたり、個別面談を行い働きやすい環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケアの技量が少ない職員には内外の研修や個別実践研修等を進めているが人員不足の為中々機会の確保は難しい。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	会議等で他事業所のお話や意見は聞くことが出来る。特別の交流は無いのでネットワークは難しい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始段階で困りごとや不安を伺い、安心してご自分のペースで生活できる様に関係づくりは行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	要望や困り事はよくお話を伺い関係づくりはしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	どのような支援が必要なのか、話し合い最善の対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の立場を考え少なからず寄り添える様な関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の意見を大切にし最善の対応が出来る様に関係は築いている。ご家族様も協力的に通院・食事会等していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様との食事会・面会等関係性が保てるように支援を行っている。	知人や友人の来訪があり、居室でお茶の接待をしている。手紙のあて名書きや電話の取次ぎをしている。家族対応で墓参りに行ったり、馴染みの美容室や買い物、外食に出掛ける利用者もいる。今までの習慣を大切に、新聞や本の購読をしている方、趣味の手工芸品の制作を続けている方もいる。プランターの植物に水をやることを日課としている方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションを行いユニット合同でコミュニケーションが取れる様に努めている。散歩も身体機能が同じ様な方と出かけたりと工夫している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談等支援に努めている。「近くまで来たので・・・」とホームに立ち寄られるご家族様もおられる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族様・ご本人様の意向を把握し沿えるようなケアに努めている。	入所時のアセスメントで利用者の思いや意向を把握している。家族から聞くこともある。日々のケアの中で職員が散歩や入浴時などの1対1の場面を大切に、意向を把握するように努めている。言葉の出にくい方については、表情やしぐさなどから思いを把握するよう努めている。買い物に行きたいという希望を聞き、近くのコンビニに買い物に行ったこともある。利用者の意向は会議などで確認して「スタッフ申し送りノート」や「利用者申し送りノート」に記入して情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居者様情報のファイルがあり、職員は必ず把握する様になっている。ご家族様にも生活歴等を面会時に聞いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご自身で出来る事は行って頂き職員間の情報の共有を持ち把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様・ご家族様・職員・ケアマネージャーと話し合い最善のケアが出来る様にしている。	まずアセスメントを実施し、介護計画の原案を作成している。1ヶ月様子を見て、家族、医師、看護師、職員などの意見を取り入れ、ユニット会議の中でサービス担当者会議を開催し、モニタリングをして介護計画書を作成している。サービス実行モニタリング表を用いて、通常は3ヶ月、長期は6ヶ月で見直している。変化のあった時にはその都度見直している。常に介護計画書と連動させて生活記録に日々のケアの様子を記録している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録用紙に記入し職員間で共有している。申し送りノートも活用し職員が日々の様子が分かる様に行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員間で個々の状況を共有し最善のサービス・支援が出来る様に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩でコンビニやブドウ畑、野菜畑を見たりして安全な生活を楽しんでいる。コンビニでは好きなお菓子やお飲物を購入したりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様・ご家族様が納得した医療を受けて頂いている。関係性も保たれている。	今までのかかりつけ医にかかっている方は1名で、その他の方は事業所の協力医を受診している。協力医の内科医は月2回の往診があり、看護師の訪問は週1回である。皮膚科、眼科、整形外科などの受診は家族が対応している。緊急時や家族が対応できない場合は職員が対応している。歯科医や歯科衛生士は月2回の往診がある。受診記録は「利用者申し送りノート」や「通院・入院・退院報告書」に記入して情報を共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員間の申し送りノート・ご利用者様の申し送りノート・医療関係の申し送りノートを活用し適切な医療が受けられる様になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様・医療関係者と密に連絡をとり早期退院に努めている。医療関係者との関係性も良好である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階でご家族様・医療関係者と話し合いを行い、最善の支援が出来る様に取り組んでいる。	「重度化した場合の対応に係る指針」を作成し、契約時に説明し同意を得ている。昨年度は1名の看取りを実施した。24時間対応の往診医とは連携している。職員研修は、事例が発生したときにマニュアルに沿って実施している。重度化した際に、利用者家族が希望する場合は看取りに関する同意書を取り、利用者家族・医師・看護師・職員などで話し合いながら最善の支援ができるように対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員はマニュアルを熟読し適切な対応が出来る様にしている。訓練も取り入れて実践に繋げて行きたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	風水害・火災訓練は行っている。第一避難場所の確保も行い、近隣施設と締結・覚書を交わした。	7月に夜間想定避難訓練、風水害想定避難訓練を消防署立ち合いで実施した。洪水の被害地域を示すハザードマップの掲示があり、近隣の「介護老人福祉施設ラベ瀬谷」と防災協定の覚書を締結し、第一避難場所の確保をした。備蓄は食料品や飲料水など3日分を備蓄チェックリストで管理している。非常電源設備があり、消防署へ自動緊急通報すると親会社の「ALSOK」にもつながる仕組みがある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	各委員会を設置。会議等で検討し不適切な場合は注意を行っている。	「接遇・行動指針」を作成し、掲示して、いつでも目に触れるようにしている。ユニット会議や全体会議で毎月確認している。トイレ誘導はさりげなく行い、トイレと浴室が近くにある造りなので失禁したときには、周囲に気付かれないようにプライバシーに配慮した対応ができる。管理者は利用者をさん付けで呼ぶよう注意するなど、その都度気づいたことを指導している。個人情報を含む書類は鍵のかかる事務所の書庫に保管している。パソコンはロックをかけ管理者のみが使用している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様にの意向を尊重し、自己決定出来る様に働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせてその人らしい生活が出来る様に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お好きな洋服・靴等（色・柄）が選べるように支援している。髪型もご本人様の意向を聞きカットして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の取り分けや食器拭き等一緒に行っている。食事スタイルも個々に合った形態で提供している。	食材は2日に1回配食業者が配達してくれる。調理は法人の調理担当者がしている。利用者は盛りつけや後片付けをしている。食前には「ALSOK体操」をしたり口腔体操をしている。職員は利用者と共に同じ物を食べ、必要に応じて介助をしている。敬老会にはお寿司の出前を取り、誕生会やクリスマス、正月などには行事食を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量・栄養バランスは個々に応じた量を提供している。職員が1日のトータル量を把握出来る様にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ケアの声掛け・誘導を行い、清潔を保っている。介助が必要な方も同様である。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限りトイレでの排泄を支援している。習慣等を把握し、声掛け、誘導、介助を行っている。	テープ止めのオムツを使用している方が日中は1名で、夜間は3名である。他はリハビリパンツとパッドを使用している。ポータブルトイレは夜間1名、常時は1名使用している。排せつチェック表で排せつパターンを把握してトイレ誘導し、自立を促している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヤクルト等お勧めしている。排便の間隔が開いたときは主治医と相談し取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様の希望に添える様に支援を行っている。ゆっくりと入浴でき安全に楽しんで入浴して頂いている。	週2回の入浴を基本としているが、要望があればできる限り対応している。同性介助の対応もしている。入浴しながらない利用者には時間や職員を替えるなど工夫している。入浴剤も要望に応じて対応し、季節ごとに菖蒲湯やゆず湯など楽しむこともある。一般浴とリフト浴があり、利用者の状態により使用している。エアコンや大型ヒーターが備え付けられており、ヒートショック対策がなされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご自分のペースで休息、入眠が出来る様に支援している。個々の様子に合わせて日中も安心して休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報ファイルを活用し、理解に努めている。主治医・薬剤師との連携を図り最適なお薬を服薬出来る様にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る限り散歩に出かける様に支援している。個々の力に合った物作りや貼り絵等を楽しんで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩に出かける事はあるが、近場であり遠くまで出かけられる事はない。ご家族様も納得はされている。	天気の良い日には、近くの公園や神社に、車椅子の方も一緒に散歩に出掛けている。家族対応で墓参りに行ったり自宅に帰ったり、馴染みの理容室に行ったり、外食や買い物に出掛ける方もいる。テラスで外気浴する方もいる。個別対応でコンビニに買い物に行く方もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様の許可を頂き所持はされているが、使われる事はなく基本管理者が現金は管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご要望があればご家族様・友人等とお話はして頂いている。手紙も自由にやり取りは出来ている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日清掃は行っている。壁にその時々のお写真の貼ったりと居心地の良い空間作りを工夫している。季節の花等も飾らせて頂いている。	リビングは広く清潔で、窓が大きく採光が良い。転倒を防止するための手すりがあり、床にはなるべく物を置かず、動線を確認している。清掃は職員と利用者が一緒に実施している。事務所はガラス張りで居室やリビングなど全体が見渡せる造りになっている。トイレは各フロアに3ヶ所あり、内1ヶ所は車椅子対応である。洗面所も車椅子の高さになっている。24時間の換気システムがあり、空調設備や加湿器、温湿度計が備え付けられている。壁面には手作りの作品やイベントの写真などが飾られている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベストな座席を職員・ご利用者様と考え変更を行っている。楽しく過ごせる様に支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様・ご利用者様と相談し、ご本人様が使い勝手の良い様に配置させて頂いている。好みの家具等も持ち込んで頂いている。	居室にはエアコン、カーテン、照明、タンス、ベッド、クローゼット、洗面所などが備え付けられている。利用者は写真、仏壇、ぬいぐるみ、時計など馴染みのものを持ち込んでいる。居室担当者が備品管理や衣替え、清掃や整理整頓などを行っている。名札には花の名前の室名と各自の名前が書かれている。ナースコールが備え付けられているほか、家族の同意を得て、安全のためにセンサーマットを使用している方もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロア・居室等安全に生活出来る様に配置等考えている。個々の力を引き出せる様工夫している。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームみんなの家  
横浜上瀬谷

作成日 平成31年2月2日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	職員不足もあるが、ご利用者様のADLからなかなか地域との交流がとれない。お祭りやイベントに参加出来る様に工夫が必要である。	少人数での参加を考え出来る範囲で交流を持てるようにする。	回覧板などで地域のイベントを調べ参加出来るようなものをピックアップする。職員・ご利用者様と話し合い参加出来る様にする。	6ヶ月
2	4	町内会長と時間が合わず参加を求められない。あまり関心がなさそうな感じを受ける為関心を持って頂きたい。	町内会長が参加され町内の行事や催し事などの連絡を頂ける様にする。	町内会長の予定に合わせた会議を開催する。連絡をマメにとりこちらの予定なども先に伝えておく様にする。	3ヶ月
3					
4					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。